

第 8 回 One Book One OSAKA 事業実行委員会報告

令和元年 5 月 10 日 15 : 30 -
大阪市立中央図書館 中会議室

(1) 開会

- ・ 配布資料の確認(レジュメ、実行委員名簿、会計報告、事業報告、投票用紙案)
- ・ メンバー確認(別紙①「One Book One OSAKA 事業実行委員会名簿」参照)、自己紹介

(2) 事業報告について

- ・ 平成 29 年度 会計報告【別紙②】
- ・ 平成 30 年度 事業報告【別紙③】
- ・ 今年度は以下の体制で行うことについて確認。
 - 実行委員長：渡邊さん
 - 副実行委員長：上田さん
 - 常任委員：坂口さん、鶴久森さん、浅山さん
 - 会計：松下さん
 - 監事：大田さん、南埜さん

(3) 第 7 回投票実施について

- ・ 協賛について(チラシ、ポスター作成用)
 - 第 6 回投票時の協賛相手方及びコラボ事業相手方に依頼。
 - 文紙 MESSE 協議会、大阪商工信用金庫より、協賛金をいただけることになった。
 - セレッソ大阪、大阪エヴェッサ(プロバスケットボール B リーグ)にも依頼中
 - 株式会社サクラクレパスにはポスターを作成していただく予定。
 - 文紙 MESSE 開催時に図書館とのコラボコーナーにて OneBook 投票を受け付ける。
 - セレッソ大阪ホームゲームでの投票も一昨年と同様実施する予定。
 - 協賛の表現については別紙投票用紙見本参照。会社のロゴマークを使用する。
- ・ 投票実施期間、方法など
 - 前回：7 月～12 月に実施。各図書館、府立中央図書館、子育て支援施設に投票箱設置。
 - 市立小学校(全生徒に投票用紙を配布)、幼児期読書環境整備事業配本施設にも投票用紙、ポスターを送付。
 - 市立図書館 HP よりインターネット投票を受け付ける。
 - 例年通り、7 月から 12 月までの期間とする。投票方法も前回同様で。
 - 投票箱については第 6 回投票時に作成したものを使用する。
- ・ 投票用紙について
 - ① 1～6 回投票までの上位絵本及びおすすめしたい絵本のリストつき 【別紙④】
 - ② 大阪の絵本、大阪弁・関西弁の絵本のリストつき 【別紙⑤】
 - ③ 自由記入
 - ④ その他

(委員からのご意見)

【リストや内容について】

- ・投票用紙にリストがあるので投票しやすくなっている。
- ・リストにおすすめ本を載せることで、投票をきっかけに読んでもらえたり、おはなし会で読んだりするのでいいと思う。
- ・リストに載っている絵本から選ばれる傾向があり、リスト以外の絵本が選ばれないのがジレンマを感じている。自由に選べることを強調できればよいと思う。
- ・リストがあるとこの中から選んでといわれているよう。自由に選べることを個別に説明できればよいができないこともあるので、それがもっとわかりやすくなれば。
- ・自由記入は何を書いてもよいということをもう少しアピールできればよいが、リストがなくその場で急に書いてもらうのは難しいと思う。

【大阪・大阪弁の絵本リストについて】

- ・大阪弁にかたよっており、「大阪」としてしまうことで、世界に羽ばたこうとしている子どもたちを逆に狭めてしまっている印象がある。
- ・大阪・大阪弁の本はリストになっているのはいいが、その中からナンバーワンを決めるようなものではないと思う。One Bookは順位付けをするものではないけれど、そう捉えられる。
- ・大阪弁のネイティブでないので、読み聞かせでは避けがちに。リストに載っているからといって読めるわけではない。
- ・大阪弁は地域の特長であり、地域の言葉を大事にすることからも大阪弁の絵本を載せないということにはならないのではないか。
- ・大阪弁は子どもにとっても楽しいし、他府県の人にも受け入れられる。

【投票用紙のレイアウトについて】

- ・リストに番号があるのが順位付けするように思えてしまう一因ではないか。
- ・番号があると集計がしやすいし、時間がない人や子ども連れで手軽に書けない人にも投票してもらいやすい。
- ・投票が終わった後でもおすすめの絵本のリストとして活用できる。投票用紙を切り取り式にして、リストを手元に残す工夫はどうか。
- ・リストを手元に残すため2枚持ち帰る人もいるので、切り取り式にしなくてもよいか。
- ・切り取り式にすると、記入欄が小さくなるし、貼りだしたときに見づらい場合もある。

⇒いただいたご意見を基に、別紙④のリストに、別紙⑤の大阪・大阪弁の絵本を少し入れ込んだ投票用紙のレイアウト案を提示する。

(4) 集計作業について

- ・投票用紙が集まり始めたら、各区の実行委員、実行委員がいない区は絵本の会などのご協力もお願いしながら各館で集計作業を行う。集計用フォームは中央図書館館外サービスより時期を見て各館に送付。

(委員からのご意見)

・投票では伸びなかったが実は愛されている絵本もわかればよい。本が何回借りられたか数値を出せるか。

⇒子どもの本のベストランキングを抽出することはできるが、個別の資料の貸出回数を抽出することは残念ながら難しい。

(5) 投票期間中の投票促進イベントについて

- ・区、学校等独自の One Book 投票・発表
- ・各地域で開催される絵本展、読み聞かせイベント等での投票啓発、投票実施
西淀川区では、今回もえほんのイベントで投票を実施する予定。
地域の活動の中でも One Book を広めていただきたい。
- ・協賛相手方イベントでの投票
文紙 MESSE 8/6,7 投票用の文具の提供もあり
セレッソホームゲームでの投票コーナー
- ・その他

(委員からのご意見)

【投票率・回収率アップのために】

・10年実施してきたが、浸透していると感じない。1冊の本を手にとってもらって話しあうなど、工夫が必要。転換期にきているのではないか。作家のプロフィールにも One Book に選ばれたことが記載されるぐらいに知名度を上げるしかけが必要。

・各区の委員が身近なところから広めていくしかない。夏休み前に配布すると回収率が下がる。夏休みの宿題として取り組んでもらえないか、小学校へお願いしてみようと考えている。

・One Book に選ばれた絵本だけでなく、選ばれなかったけれど投票が多かった絵本も展示するのはどうか。

・投票用紙にもあるように、一冊の本を選ぶときに他のたくさんの絵本に触れるのが大事。親子で選ぶプロセスを大事にして、楽しさを共有してもらおうのが大切。

【おはなしたのしいでえ in 大阪にて】

・投票の年は、会場に投票コーナーを設置している。今回は、One Book One OSAKA 実行委員会として、OneBook の読み聞かせをして投票の呼びかけを行いたい。どこのグループも出演しない空きの時間帯に参加できないか、おはなしたのしいでえの実行委員会で提案してみたい。⇒実行委員の皆さんで有志として参加される方は事務局へお知らせください。

【途中経過・結果発表について】

・絵本の人気投票はインターネットでもいくつも見られ、レビューを参考に絵本を選ぶ人も多い。途中経過を発表し、生の声をもっと出してほしい。

・委員の活動範囲の中で取り組む。絵本展で One Book を揃えていると、並べているだけで人がたくさん集まった。いきいきや子育て支援施設などにも持って行って投票してもらっている。小学校のおはなし会でも読んで全員に投票してもらい、学校の HP に掲載してもらっている。

・投票用紙を校内に全部貼ってもらっている。書いた場所で掲示してもらえるのが、子どもたちが達成感が得られるので良いと思う。

・投票の後どう公表するのか、市民への発表が課題。市や区の広報紙に掲載するのはどうか。

⇒HP に途中経過を発表したり、SNS なども活用し広報していく。地域の活動の中でも広めていただきたい。

(6) 次回実行委員会について

・投票終了後、各館で集計を行い、市立中央図書館でとりまとめた結果をもとに、One Book を決定するために実行委員会を開催する。令和 2 年 3 月上旬までに開催したい。

